

「未来高岡」ステップアップトーク（博労地区）会議記録 <要旨>

- 1、日 時 平成 28 年 9 月 25 日（日） 午前 10 時 00 分から 11 時 00 分
- 2、場 所 博労公民館
- 3、出席者 市民 53 名（うち女性 10 名）
高岡市
市長、経営企画部政策監、広報統計課長
- 4、会議次第
 - (1) 高岡市総合計画基本構想の紹介
 - (2) 参加者との意見交換

.....

(1) 高岡市総合計画基本構想の紹介

(2) 参加者との意見交換

参加者

- ・博労地区は高岡市内でも最も高齢化率が高い地区である。また、博労地区や平米地区では、人口が減少するとともに空き家が増えており、加えて住宅地であることから企業などを誘致することもできない。まちなかの人口減少についてどのように対応していくのか。

市長

- ・現在、昔のまち並みが残る町屋が注目を集めており、空き家を改修して住居にしたりショップにする例も出てくるなど、高岡でもまちなか回帰の動きが出てきている。新高岡駅と、高岡駅から中心市街地、山町筋、金屋町に至る都心軸が重要だと考えており、市でも町屋の改修補助などを行っているので、空き家を貸家として活用するなど様々な方法で定住への流れを促進したい。

参加者

- ・高岡駅周辺は人通りが少なくさびしいので、万葉線を新高岡駅まで繋ぐなど工夫して活性化できないか。また、市役所等をまちなかへ移転して人の流れを作ってほしい。

市長

- ・万葉線と城端線、氷見線のレールの幅が同じなので、まずは氷見線と城端線の直通化を目指し、その後、万葉線の延伸について検討したい。高岡駅周辺における活性化の取り組みとしては、看護専門学校の開校や、ホテル、マンションの建設等がある。山町では昨年、御車山会館がオープンし、金屋町では町屋をギャラリーとして開放するなど人の流れの受け皿として様々な動きが出てきている。まちなかで人の流れを作りたいという思いがある。